

平成27年度第2回 倉吉未来中心運営懇談会 概要

日 時:平成28年3月11日(金) 19:00~20:30

場 所:倉吉未来中心セミナールーム2

1 開 会 進行:藤野総務部長

2 挨拶 西川館長

3 出席委員紹介 ※出席委員:出席者名簿のとおり

4 資料説明

(資料) 平成27年度倉吉未来中心第1回運営懇談会での主なご意見とその対応状況

(資料) 倉吉未来中心「地域との連携・協働」による取組状況

(資料) 平成28年度の方針と取組

(意見交換前) 県文化政策課より大規模改修によるホール利用休止予定について説明

5 意見交換

【意見交換の内容】

(委員) 事業計画書11ページのなかのマスコミとの特別共催型鑑賞事業の課題として、「チケット取り扱いにおいては、人的負担が増加したため、事務量の軽減策の検討が必要。」とあるが、人的負担が増加したというのはどのように何が増加したのか。財団主催事業とマスコミ共催で何か違うのか。

(未来中心) 多くの方が購入されたので、日々のチケットの売上額や枚数の管理、窓口対応などの事務量が増加した。財団主催でもマスコミ共催でも基本的には対応は同じであるが、共催事業が増えたことにより全体の業務も増えたという意味である。県民にとっては鑑賞機会が増えて大変良かった一方、事務作業を効率よく進める必要性を感じた。

(委員) 昨年、未来ウォークを初めてアトリウムで開催したが、これも未来中心との協働事業ではないかと思う。県外からも多くの人が訪れ、雨の影響もなく、運営的には上手くできた。来年度もワールドトレイルズカンファレンスと未来ウォークを開催するので、協力をお願いしたい。

美術館建設に絡み島根のグラントワの取り組みの話聞いた。未来中心と似ていると思うが、視察に行かれたりするのかわ。すごく集客もしておられるようだ。美術館が中部にできれば、中部にとっては非常に良い環境になり興味深く思ったところである。運営に関して地域のボランティアとの関わりが非常にあるようだ。チケット販売の窓口になるなど地域に根付いているなど共感した。未来中心でもボランティアの会があるが、施設として地域の方々にとんどん関わっていただけるような試みをすればどうか。

(未来中心) 鑑賞公演や地域の伝統芸能などの取り組みを参考としたいため、昨年グラントワを視察した。グラントワはボランティア専用の部屋があり、普段から集まって作業しておられるようだ。場所があるというのが大きい。公演の時だけではなく、清掃活動や館内に生け花を飾ったりするボランティアもあるようだ。未来中心ではそこまでの活動が出来ていなく、強化していく部分である。

(委員) 未来中心では、より多彩や喫茶が交流の場所になっているかもしれない。

(未来中心) グラントワのボランティアは、事業への関わりだけではなく施設全体に関わっている。未来中心の弱いところは、ボランティアをコーディネートする専属の人がいない点である。舞台スタッフ養成事業では、高校生、社会人向けの講座を開催しており、技術を習得してもらっている。中部では業者も少ないので、人材が育てば地域のイベントで手伝ったりすることができるようになる。将来的には舞台監督・補佐のような人が出てきて次の人材を育て、好循環

環になればよい。

- (委員) 倉吉ではボランティアが定着しにくい雰囲気がある。未来中心が一つのきっかけとなり、定着していき、文化が根付いていけばよい。
- (未来中心) 鳥取短期大学の学長の話の中で、学生を「鳥の劇場」に行かせると、以前は声楽家や役者になりたいという声を聞いたが、最近では舞台の裏方スタッフになりたいという学生が出てきた。
- (委員) 施設のクオリティの高さが知られていないとあったが、皆にわかりやすく具体に出して説明し、アーティストを呼んできてほしい。行政の立場からすれば1市4町の住民が未来中心に集まってきやすいものを引っ張ってきてほしい。
- (未来中心) 来年度、パリ管弦楽団の公演が本決まりであったが先方の都合で中止となった。東京・京都公演ではチケット代が25,000円位するが、未来中心では半額程度とする予定であった。世界でもベスト10に入るオーケストラであり、ホールのすばらしさを国内外にPRする絶好の機会であったので残念である。
- (委員) 営業活動をしておられるのか。
- (未来中心) 年に1・2回出かけている。最近ではプロモーター側からも公演の提案に来られるようになったので徐々に形が出来ていると感じる。4月3日の気志團のコンサートも米子又は倉吉のどちらかということであったが、倉吉に決定した。
- (所管課) PRというのは大きい。山本耕平リサイタルでは、前日の日本海新聞に「ふるさと大使」就任の記事が出たこともあり、当日券がたくさん出たようだ。
- (委員) 15周年の冠公演はあるのか。
- (未来中心) 特に予定はしていない。
- (委員) 全体的な事業の収益性や資金調達などはどうであるのか。年々いい数字が出ているのか。
- (未来中心) 未来中心の3本柱である「地域連携・協働事業」「地域活性化事業」「舞台スタッフ養成事業」は未来中心の管理運営費より年間350万円程度捻出して実施しているが、鑑賞公演は鳥取県文化振興財団本体の予算である。財団友の会の会員数は、4・5年前は500名を下回ることもあったが、近年は事業ラインナップの充実を図ったこともあり900名位である。人口比率的にも中部地区の会員数が少ない状況であったが、12月の竹中直人の演劇公演により中部の会員数が大幅に増え、3地区の中で初めて一番多くなった。地域のニーズに沿って鑑賞したいものをタイムリーに提供できれば会員にもなっていただける。
- (委員) 10月の中部で発生した地震の時にちょうど未来中心を利用しており、普段聞くことのないガラスのきしむ音にびっくりした。地震直後、職員が点検している姿は見たが、利用者へ館内放送でアナウンスをされたのか。利用者へのフォローをされた方がよいと感じた。アトリウムのガラス修理は地震の関係でしておられるのか。
- (未来中心) ガラスの取り替えは、同じような時期にひび割れが発見されたもので、地震とは関係ないものである。建物は耐震構造となっているため、基準的に問題はない。館内放送はしていないが、J-ALERTが設置されているので、自動的に放送が流れるシステムとなっている。
- (所管課) ガラスのひび割れは地震の前であるが、安全面では、アトリウムのガラスは二重ガラスで中にフィルムが入っているので割れて落ちることはない。屋根の改修は雨漏り防止のコーキングを3年計画で実施する予定である。構造上、ガラスのつなぎ目が劣化しやすい。
- (未来中心) 東日本大震災以降、屋根より天井が危険であると言われ、未来中心は7年前に大・小ホール天井を補強したので安全である。地震の後、「異常ありません」の放送が一言あれば良かったかもしれない。
- (委員) 事業計画書4ページの自己評価方法について、評価チェックの中に運営懇談会もある。利用者アンケートやご意見箱の意見への対応結果の公開はされているのか。それによる評価があるのか。改善・目標再設定の中に県民ニーズの把握とあるが、どのように把握して具体的な改善に繋げているのか。
- (未来中心) 利用者アンケートは毎月集計し、対応状況をホームページで公開している。県民ニーズの把握はアンケート結果などを総合的に把握し、来年度の取り組みや事業計画に反映させている。事業選定では、呼んで欲しいアーティスト名、料金帯、男女比、住まいなどの統計を取り、あらゆる角度から分析している。

- (委員) ニーズは鳥取や米子と違う地域性があるのか。
- (未来中心) 東部・西部ではプロモーターによる鑑賞公演で著名な方がくるが、中部では少ないので未来中心がその役割を担う必要がある。12月の竹中直人の演劇公演では、初めて演劇を鑑賞した人が半数近くいた。このようなことから中部の特徴のひとつとして、有名人が出演している場合は入場者が増える。高尚なものだけではなく、ある程度有名な人が出演しているものが求められていると思う。このような公演をきっかけに愛好家が増えれば、次に繋がっていく。
- (委員) 駐車場内に施設の案内図があるのか。正面玄関前の駐車場は建物の入口が直ぐに解るが、第2駐車場はパークスクエア全体の駐車場でもあり、複合施設でもあるので、車を降りてから未来中心の入口への動線が解りにくい。イベントを主催する時は矢印を設置しようと考えているが、元々の案内表示が不足しているように感じる。
- (未来中心) つい先日、初めて利用された方からも同様のご意見をいただいた。現地を確認して方向指示等の案内表示を検討する。
- (委員) 町の立場からすると、やはり未来中心との連携のイメージが湧かない。三朝町との連携事業の話を知ると、同じようにやっていただけたらと思うが、わが町で何ができるかを考えるが材料がなく、具体的な提案ができない。平成27年度第1回運営懇談会での意見の対応として、中部地域の団体や公立施設との連携をしていくとあるが、具体的に何をするのか。連携という言葉は美しいが、具体的に何をされているのか解らない。具体を示してもらえると提案しやすい。
- (未来中心) 未来中心は中部地域の文化の拠点施設として位置づけられており、未来中心だけではなく他の文化施設等を巻き込んでいくことにより効果が上がり、地域活性化へ繋がると考えている。
- (委員) 町の文化団体協議会と定期的に何かやりとりしているのか。地域の文化団体が町のホールを利用したり、未来中心を利用することもあるが、文化団体と未来中心が定期的にやりとりをしていかないと成果を出すのは難しい。
- (未来中心) 文化団体協議会と具体的な取り組みはできていない。情報発信として情報誌等の送付をしている位である。一時期、活動団体の紹介をアトリウムに掲示していたこともあったが現在はしていない。文化団体とコミュニケーションを取って、ニーズを把握し、連携を深めようになりたいと思う。
- (委員) 1市4町の次の連携を企画してほしい。中部のための施設として展開していき、具体的にアプローチしながら切り口を見つけてほしい。
- (未来中心) 来年度は、大ホールでの中部和太鼓ネットワークの公演を予定しており、その中で1市4町との連携を図りたいと考えている。次回予定していた湯梨浜町との連携では、ハワイアロハホールとの連携を検討していたが、諸事情もあり見直す必要がでてきた。連携のあり方については、改めて検討する。
- 地域との連携を技術的な立場で言うと、市町の文化施設も老朽化してきており、自治体から舞台設備改修の相談が増えている。市町の施設を利用する方からの声を聞くこともあり、常に気にかけて施設側へアドバイスしている。
- (委員) 役所の職員は専門知識がないので有り難い。

5 閉 会

【懇談会の様子】

